

工事仕様書

令和 8 年度

公セ工補第 7－機高－4 号

下水道センター耐水化対策（土木）工事

工事箇所 上越市大字藤野新田 地内

上越市ガス水道局

修繕工事仕様書

1 適用範囲

本仕様書は以下の修繕工事に適用するものである。

工事番号 公セ工補第 7・機高-4 号

工事名 下水道センター耐水化対策（土木）工事

工事場所 上越市大字藤野新田 地内

2 工期

契約締結日から 200 日間

3 工事概要

上越市下水道センターが浸水被害により、機能停止するなどの被害から守るため、浸水対策の一環として耐水化工事を行うもの。

4 工事仕様・特記事項

添付によるほか、下記事項について遵守すること。

○現地作業について、監督員と十分打合せすること。

○別途工事が発注となった場合は、その工事と工程等の調整を図ること。

本仕様書及び図面等に記載のないものについては、下記の図書を適用とする。

○上越市公共下水道工事標準仕様書

○新潟県土木工事標準仕様書

○土木工事共通仕様書（国土交通省 北陸整備局）

○下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備編

5 保証期間

引渡し後 1 年以内に受注者の責に起因する破損については、無償で速やかに取替または修理を行うものとする。

その他の場合については、発注者と受注者の協議による。（消耗品を除く）

6 環境配慮に関する事項

○納入物品や業務に必要な消耗品等（用紙を含む）は、可能な限りエコマーク、グリーンマーク商品等を使用すること。

○業務の遂行にあたって車両を運行する場合は、アイドリングストップや経済速度走行の励行等、出来る限り地球温暖化及び大気汚染の防止に努めること。

○その他環境に配慮した業務の遂行に努めること。

7 その他

- 当該工事は、週休 2 日補正対象としていますので、現場閉所（月単位）の補正係数を労務費に反映させること。
- 当該工事は、熱中症対策費用の補正を対象とする。
- 不明な点などが生じたときは、監督員と協議すること。

位置図



工事箇所



数量総括表

数 量 総 括 表				
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
(躯体復旧工)				
無収縮モルタル		m ³	0.14	F _c = 30 N/mm ²
鉄筋コンクリート新設		m ³	17.95	F _c = 24 N/mm ²
型枠工	普通型枠	m ²	140.40	
〃	円形型枠	〃	0.76	
(付帯復旧工)				
膨張シール材		m	139.28	
マンホール蓋(重荷重用)	φ 600	箇所	3	
マンホール蓋(軽荷重用)	φ 600	箇所	2	
雨仕舞蓋	2,600×1,600	箇所	1	
蓋設置	設備機械工	人	0.74	
足掛金物	ポリプロピレン製	個	3	
〃	ステンレス製	〃	9	
支保工(くさび結合支保工)				
H ≧ 4.0m	T ≦ 40 kN/m ²	空m ³	88.93	
支保工(ハイクサポート支保工)				
H < 4.0m	T ≦ 40 kN/m ²	空m ³	1.32	

数量総括表

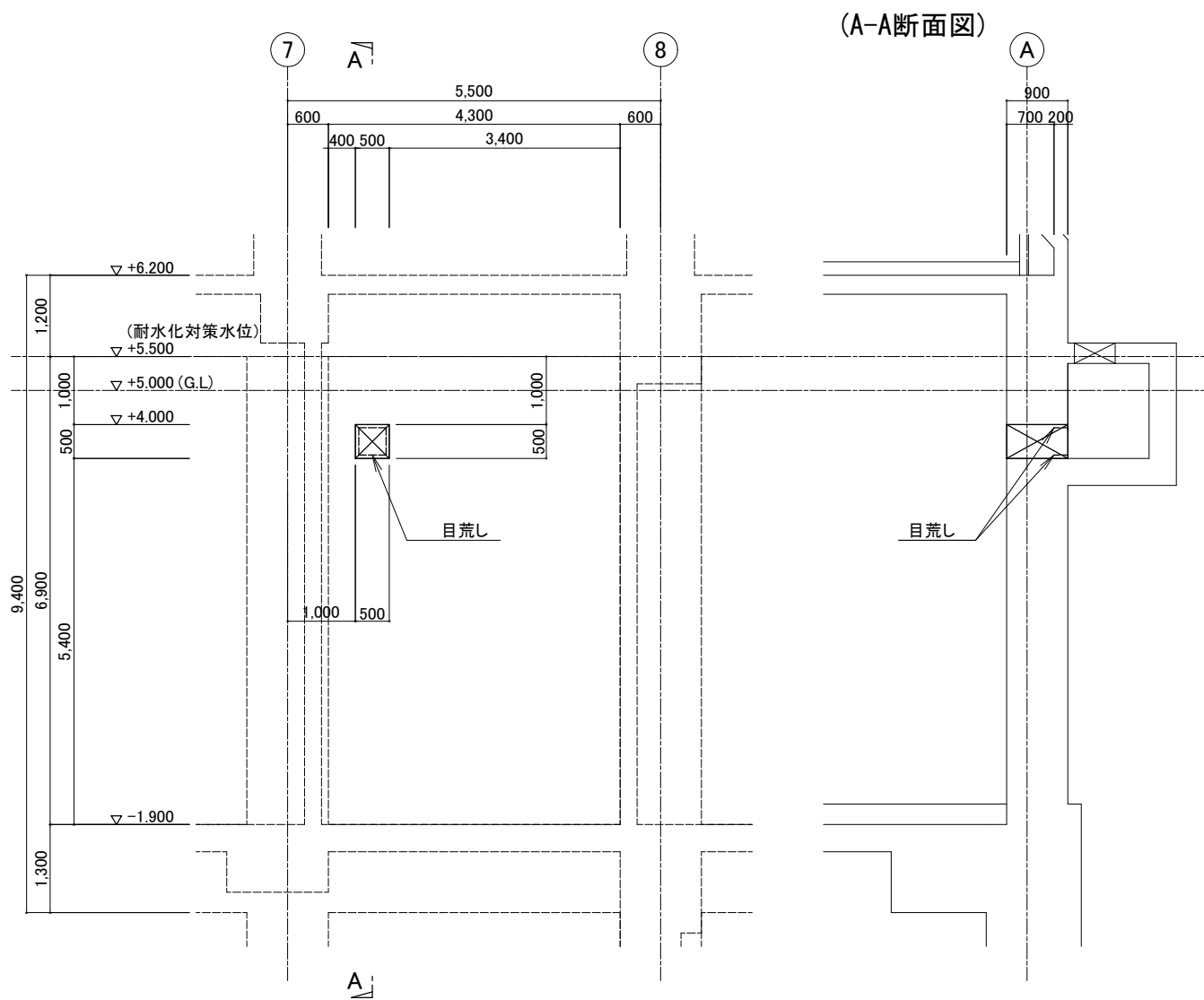
[illegible]

集計表1

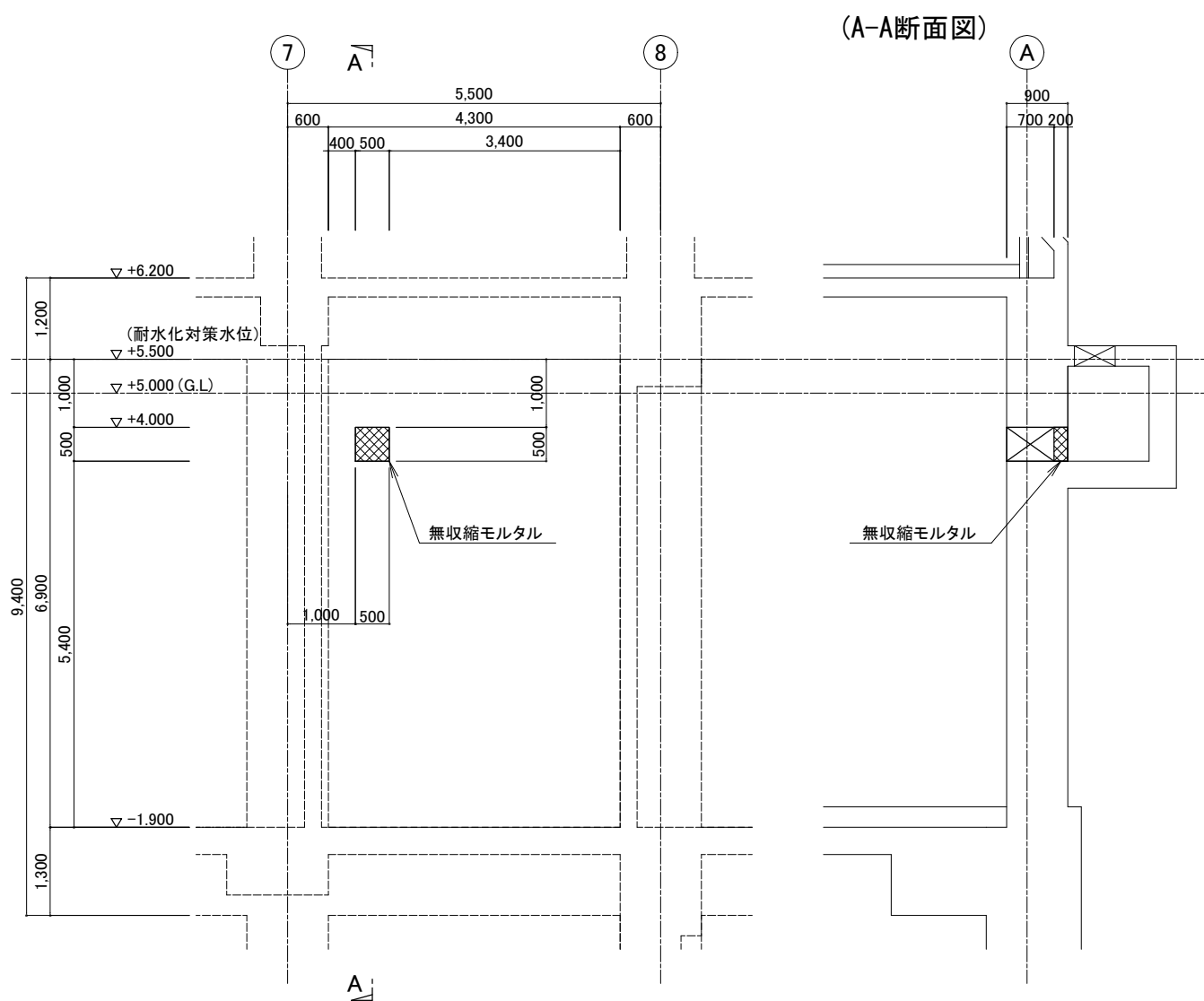
	形状寸法	単位	沈_C_1	沈_C_2	沈_C_3	砂_C_1	砂_C_2	管_C_1_1	管_C_1_2	管_C_2	管_C_3	管_C_4	管_C_5	管_C_6	合計
(躯体撤去工)															
目荒し		m ²	0.40					3.56	19.22	1.84			1.00	0.82	26.84
コンクリート研り		m ³				0.06	0.03								0.09
ガラ処分		〃	0.02			0.06	0.03	0.11	0.58	0.06			0.03	0.02	0.91
カッター切断		m				10.17	5.08								15.25
(付帯撤去工)															
マンホール蓋	φ 600	箇所				2	1								3
トップライト	2600×1600	箇所								1					1
ガラスブロック		m ²						2.38	12.85						15.23
〃	参考重量	t						0.20	1.08						1.28
蓋撤去	設備機械工	人								0.24					0.24
(躯体復旧工)															
無収縮モルタル		m ³	0.05			0.06	0.03								0.14
鉄筋コンクリート新設		〃						2.26	12.18	0.92			1.51	1.08	17.95
型枠工	普通型枠	m ²	0.50					14.70	94.07	9.20			12.56	9.37	140.40
〃	円形型枠	〃											0.38	0.38	0.76
(付帯復旧工)															
膨張シール材		m						17.80	96.12	9.20			8.58	7.58	139.28
マンホール蓋(重荷重用)	φ 600	箇所				2	1								3
マンホール蓋(軽荷重用)	φ 600	箇所											1	1	2
雨仕舞蓋	2,600×1,600	〃								1					1
蓋設置	設備機械工	人								0.74					0.74
足掛金物	ポリプロピレン製	個											2	1	3
〃	ステンレス製	〃											5	4	9
支保工	くさび結合支保	空m ³						13.09	75.84						88.93
〃	パイプサポート支保	〃											0.86	0.46	1.32

[illegible]

撤去工 (沈_C_1)



復旧工 (沈_C_1)



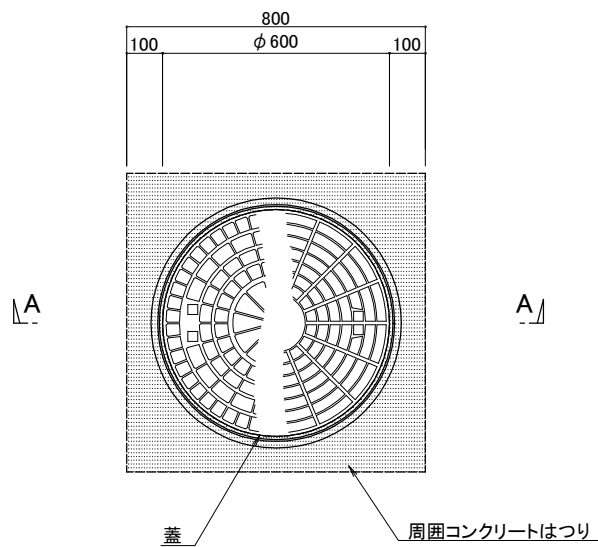
撤去数量(沈_C_1)		
<u>目荒し</u>	$A = 0.20 \times 0.50 \times 4$	= 0.40 m ²
<u>ガラ処分</u>	$V = 0.40 \times 0.03$	= 0.02 m ³

復旧数量(沈_C_1)		
無収縮モルタル (Fc=30N/mm ²)	$V = 0.20 \times 0.50 \times 0.50$	= 0.05 m ³
型枠	$A = 0.50 \times 0.50 \times 2$	= 0.50 m ²

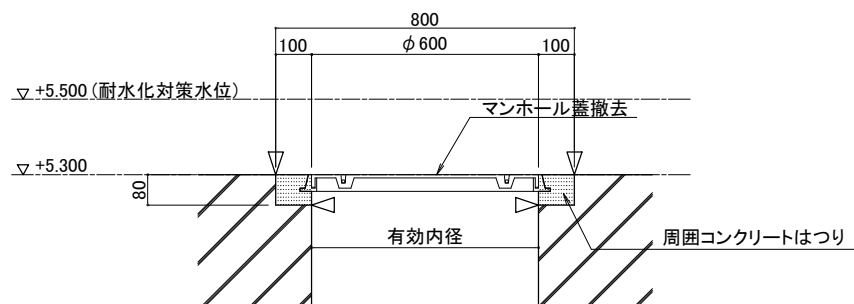
撤去工

(砂_C_1) 2ヶ所

詳細平面図



A-A断面図

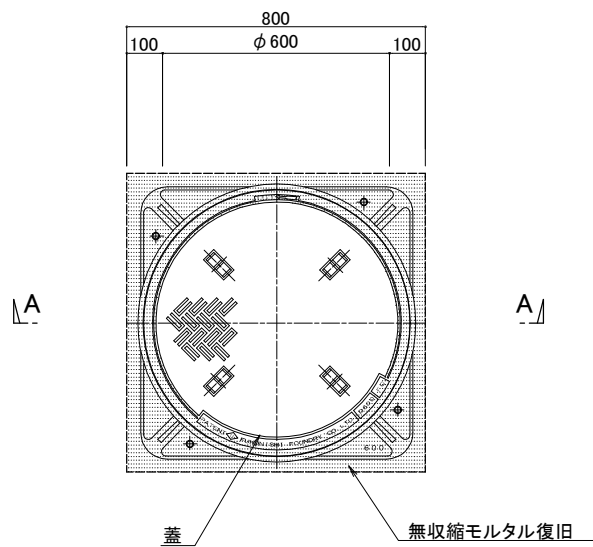


注) ∇ は、カッター切断を示す。

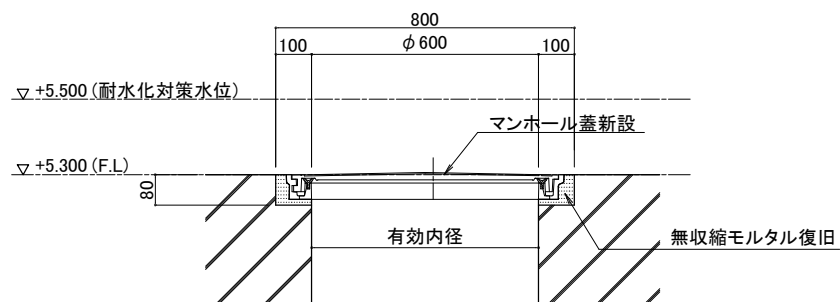
復旧工

(砂_C_1) 2ヶ所

詳細平面図



A-A断面図



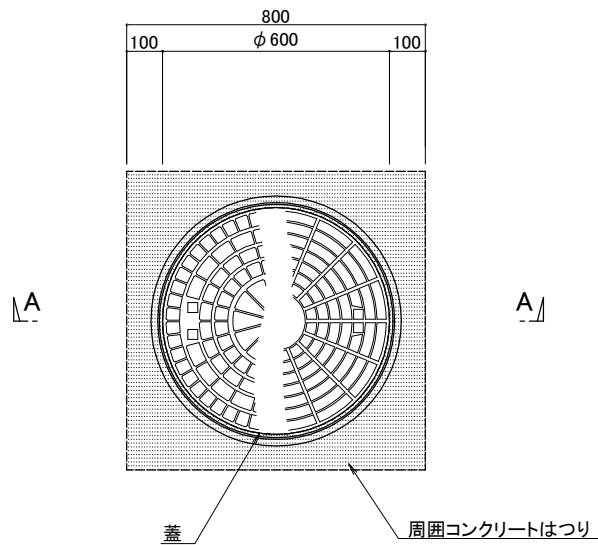
- ・改修後のマンホール蓋は、
密閉型製品 (耐外水圧0.002MPa対応、重荷重用)とする。

撤去数量(砂_C_1)		
<u>コンクリート研り</u>	$V = 0.08 \times (0.80 \times 0.80 - 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60) \times 2$	= 0.06 m ³
<u>ガラ処分</u>	V = (上記 : 体積合計 より 0.06 m ³)	= 0.06 m ³
<u>カッター切断</u>	$L = (0.80 \times 4 + \pi \times 0.60) \times 2$	= 10.17 m
<u>マンホール蓋 撤去 φ 600</u>	N = 2	= 2 箇所

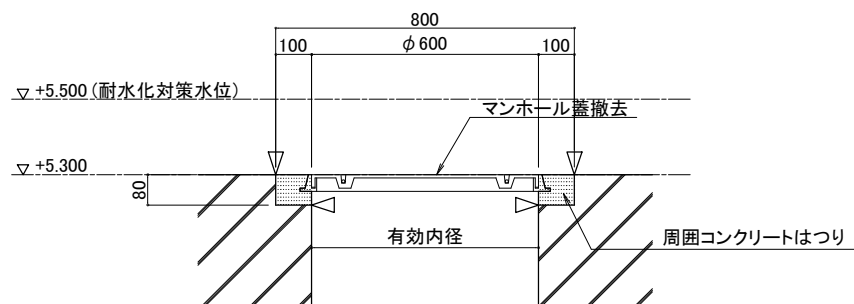
復旧数量(砂_C_1)		
無収縮モルタル (Fc=30N/mm ²)	V = (撤去数量 : コンクリート研り より 0.06 m ³)	= 0.06 m ³
マンホール蓋 新設 φ 600	重荷重用(耐外水圧:0.002MPa) N = 2	= 2 箇所

撤去工 (砂_C_2)

詳細平面図



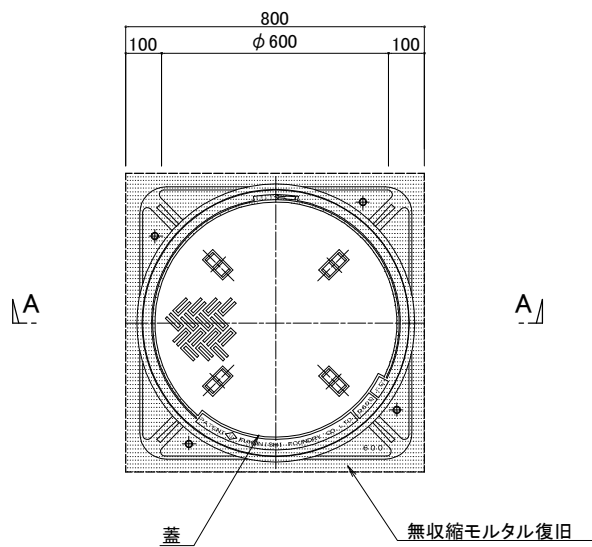
A-A断面図



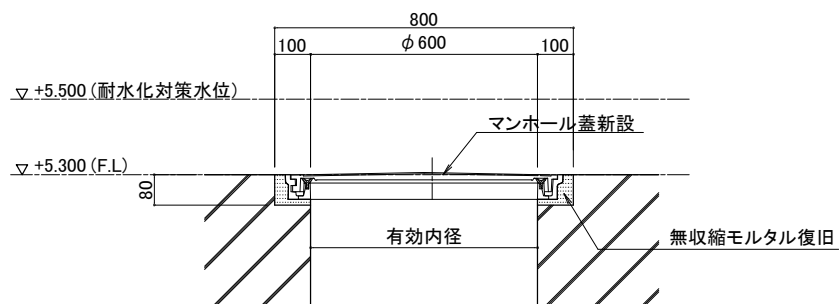
注) ∇ は、カッター切断を示す。

復旧工 (砂_C_2)

詳細平面図



A-A断面図



- ・改修後のマンホール蓋は、
密閉型製品 (耐外水圧0.002MPa対応、重荷重用)とする。

撤去数量(砂_C_2)

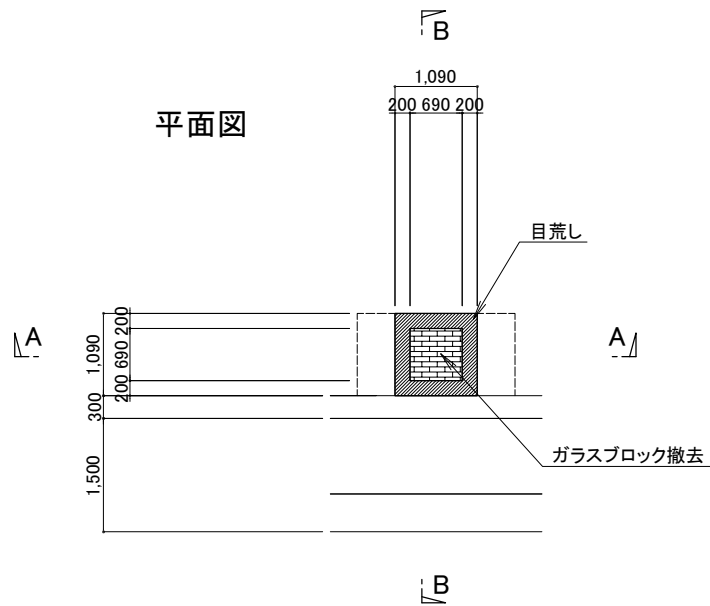
<u>コンクリート研り</u>	$V = 0.08 \times (0.80 \times 0.80 - 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60)$	=	0.03 m ³
<u>ガラ処分</u>	V = (上記 : 体積合計 より 0.03 m ³)	=	0.03 m ³
<u>カッター切断</u>	$L = 0.80 \times 4 + \pi \times 0.60$	=	5.08 m
<u>マンホール蓋 撤去 φ 600</u>	N = 1	=	1 箇所

復旧数量(砂_C_2)		
無収縮モルタル (Fc=30N/mm ²)	V = (撤去数量 : コンクリート研り より 0.03 m ³)	= 0.03 m ³
マンホール蓋 新設 φ 600	重荷重用(耐外水圧:0.002MPa) N = 1	= 1 箇所

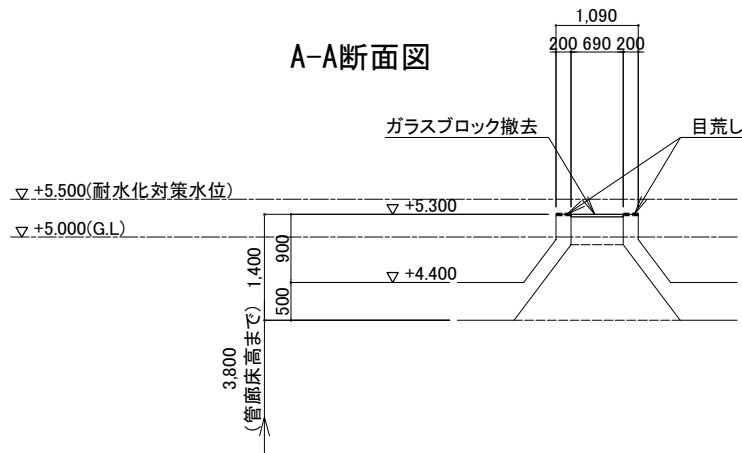
撤去工

(管_C_1_1) 5ヶ所

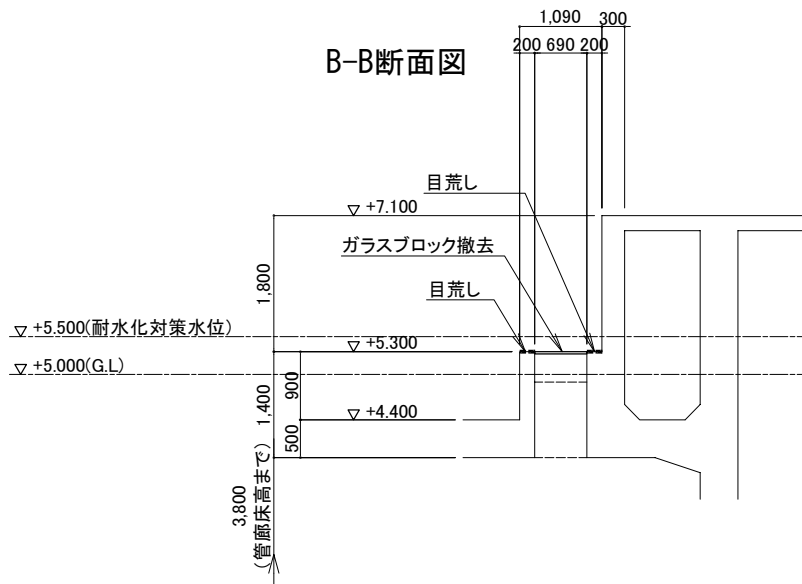
平面図



A-A断面図



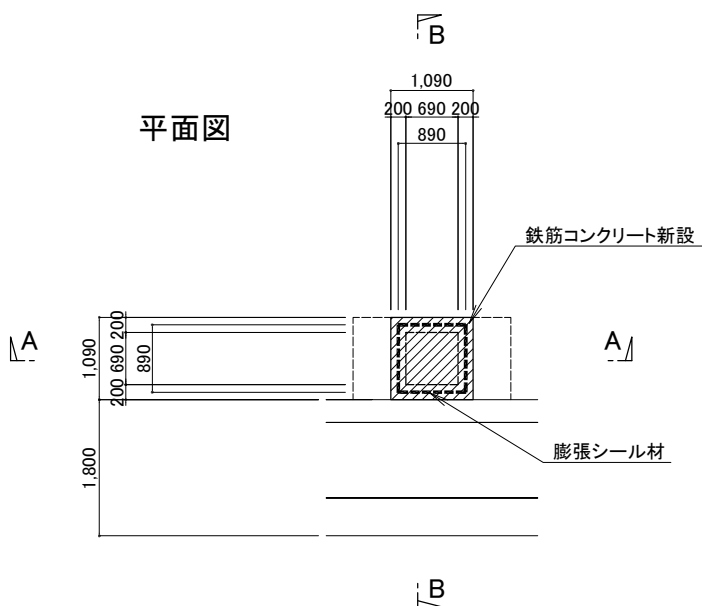
B-B断面図



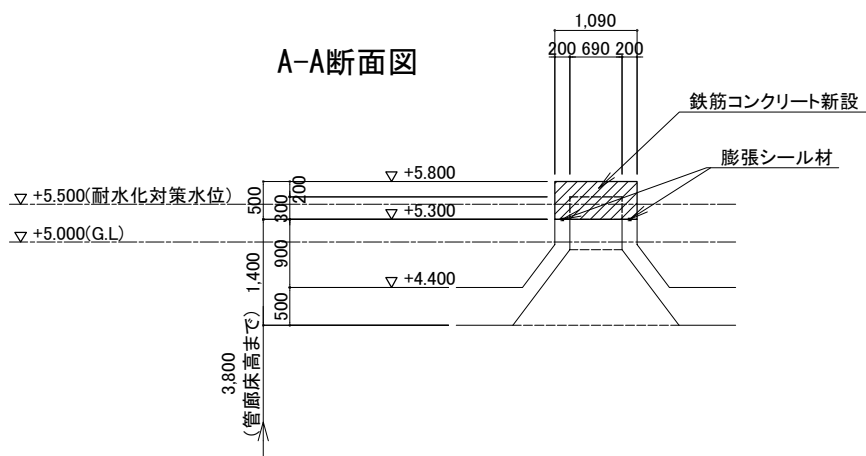
復旧工

(管_C_1_1) 5ヶ所

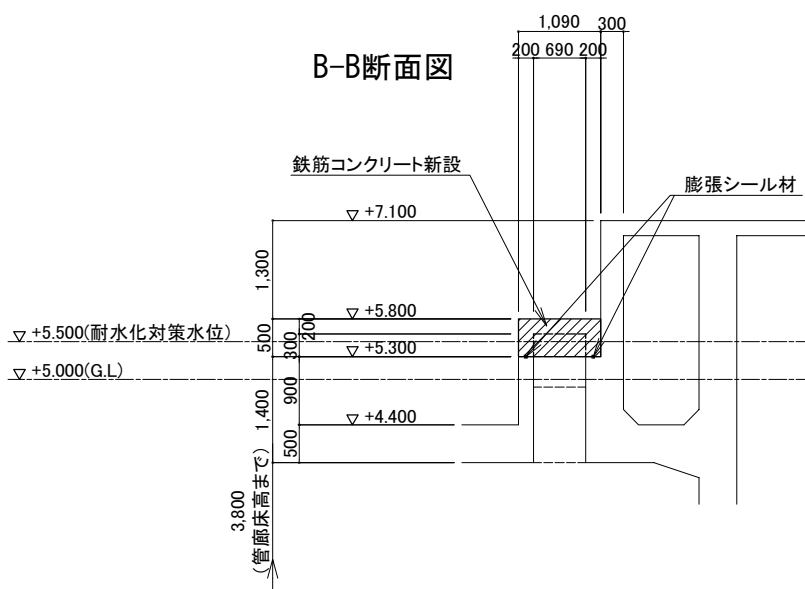
平面図



A-A断面図



B-B断面図



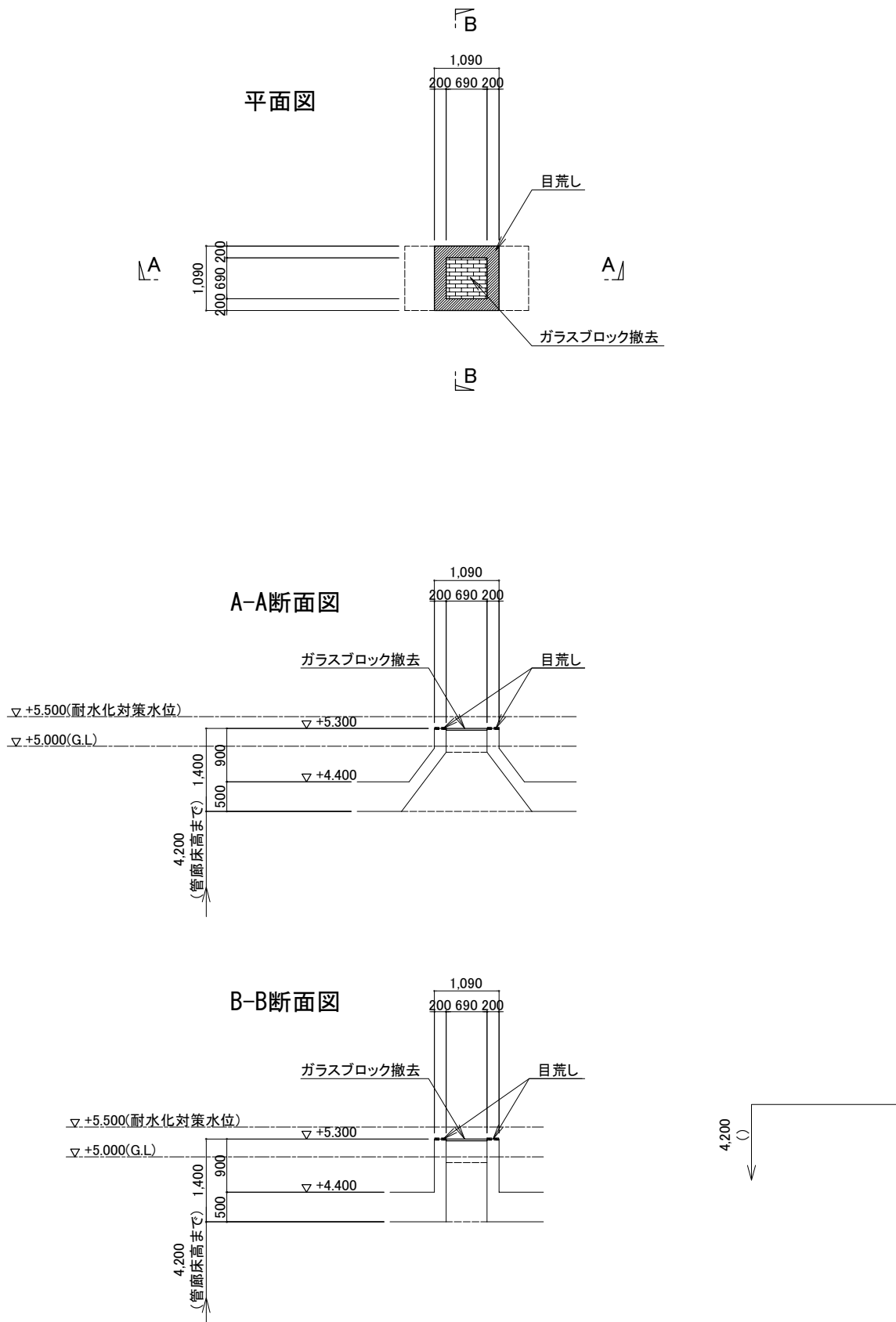
撤去数量(管_C_1_1)

目荒し	$A = (1.09 \times 1.09 - 0.69 \times 0.69) \times 5$	=	3.56 m^2
ガラ処分	$V = 3.56 \times 0.03$	=	0.11 m^3
ガラスブロック	$A = 0.69 \times 0.69 \times 5$	=	2.38 m^2
(参考重量)	1箇所当たり40kgと想定して、		
	$W = 5 \times 40 \text{ kg/枚} \times 1/1000$	=	0.20 t
	厚さは、0.095mと想定して、		
	$W = 2.38 \times 0.095$	=	0.23 m^3

復旧数量(管_C_1_1)		
膨張シール材	$L = 0.89 \times 4 \times 5$	= 17.80 m
鉄筋コンクリート 新設 (Fc=24N/mm ²)	$v = 0.50 \times 1.09 \times 1.09 \times 5$	= 2.97 m ³
	$-v = 0.30 \times 0.69 \times 0.69 \times 5$	= -0.71 m ³
		V = 2.26 m ³
型枠工 (普通型枠)	$a = 0.50 \times 1.09 \times 3 \times 5$	= 8.18 m ²
	$a = 0.30 \times 0.69 \times 4 \times 5$	= 4.14 m ²
	$a = 0.69 \times 0.69 \times 5$	= 2.38 m ²
		A = 14.70 m ²
支保工 くさび結合支保 (H ≧ 4.0m)	$T \leq 40 \text{ kN/m}^2$ $V = 0.69 \times 0.69 \times (3.80 + 1.40 + 0.30) \times 5$	= 13.09 空m ³

撤去工

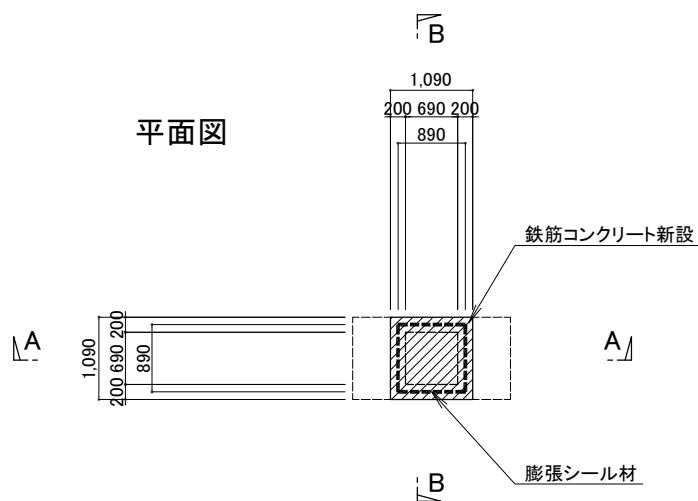
(管_C_1_2) 27ヶ所



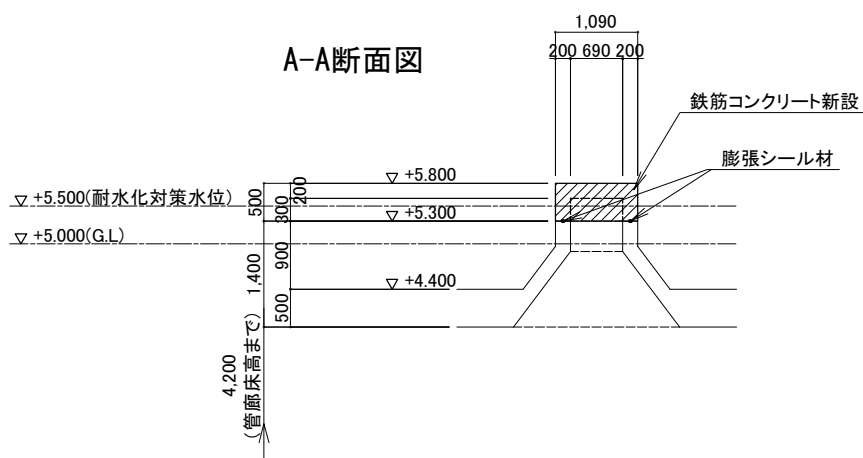
復旧工

(管_C_1_2) 27ヶ所

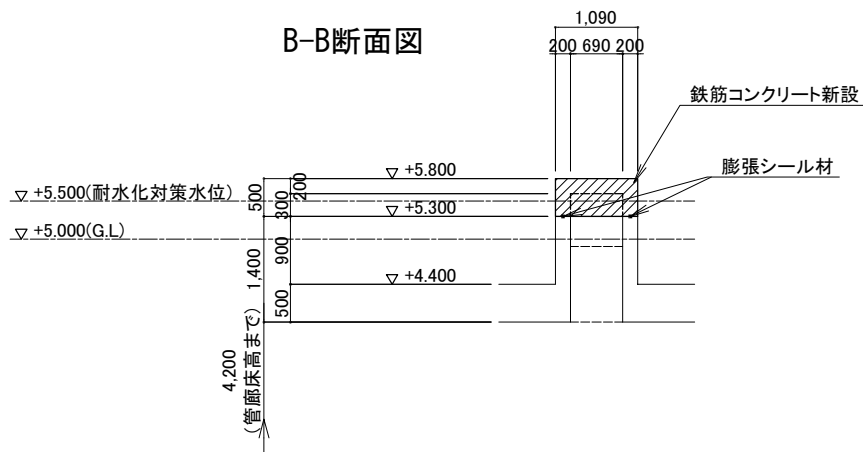
平面図



A-A断面図



B-B断面図

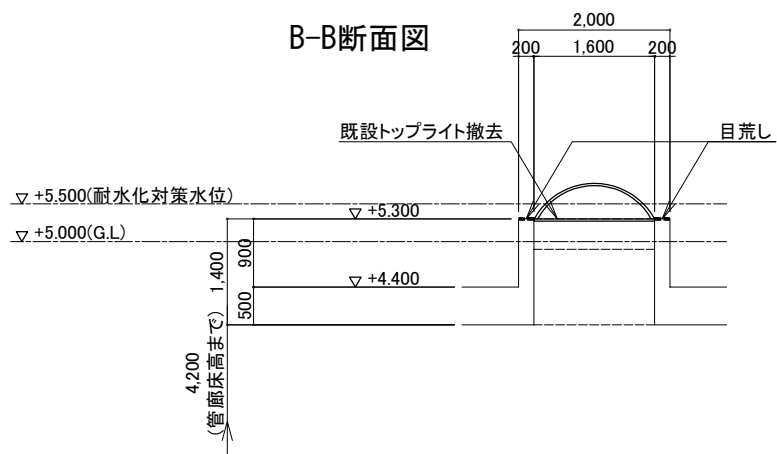
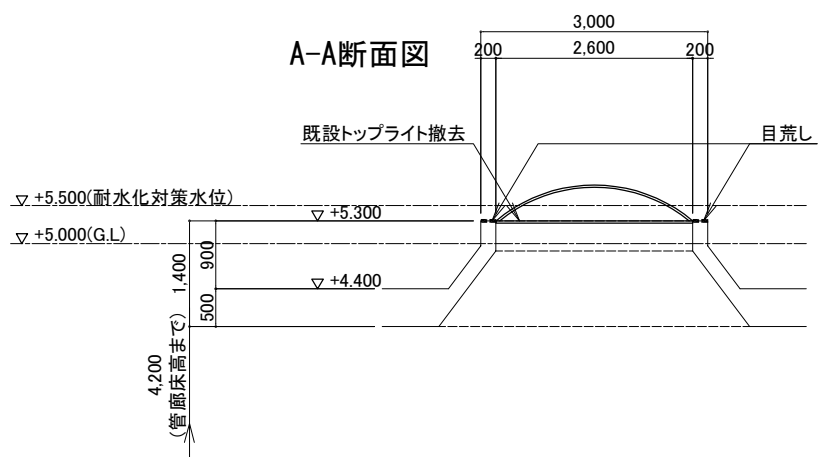
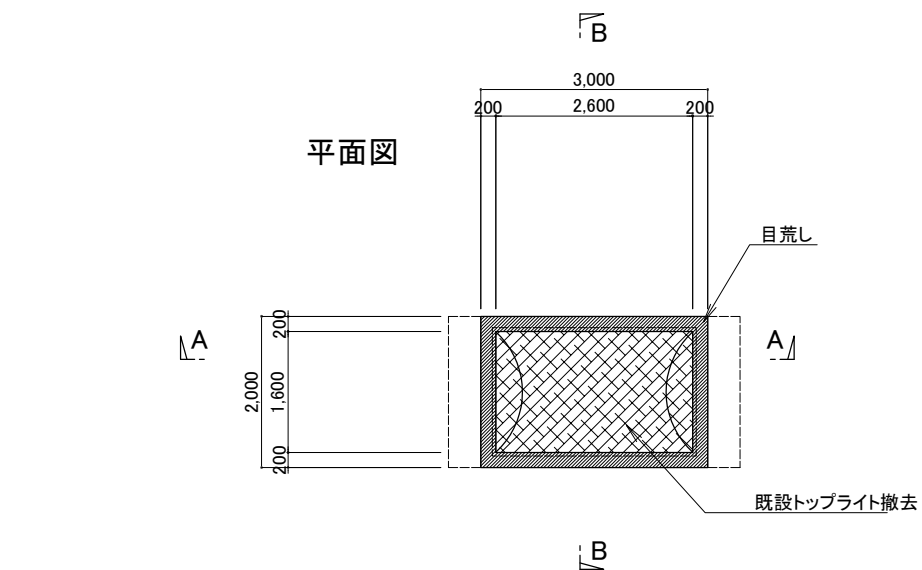


撤去数量(管_C_1_2)

<u>目荒し</u>	$A = (1.09 \times 1.09 - 0.69 \times 0.69) \times 27$	=	19.22 m ²
<u>ガラ処分</u>	$V = 19.22 \times 0.03$	=	0.58 m ³
<u>ガラスブロック</u>	$A = 0.69 \times 0.69 \times 27$	=	12.85 m ²
(参考重量)	1箇所当たり40kgと想定して、		
	$W = 27 \times 40 \text{ kg/枚} \times 1/1000$	=	1.08 t
	厚さは、0.095mと想定して、		
	$W = 12.85 \times 0.095$	=	1.22 m ³

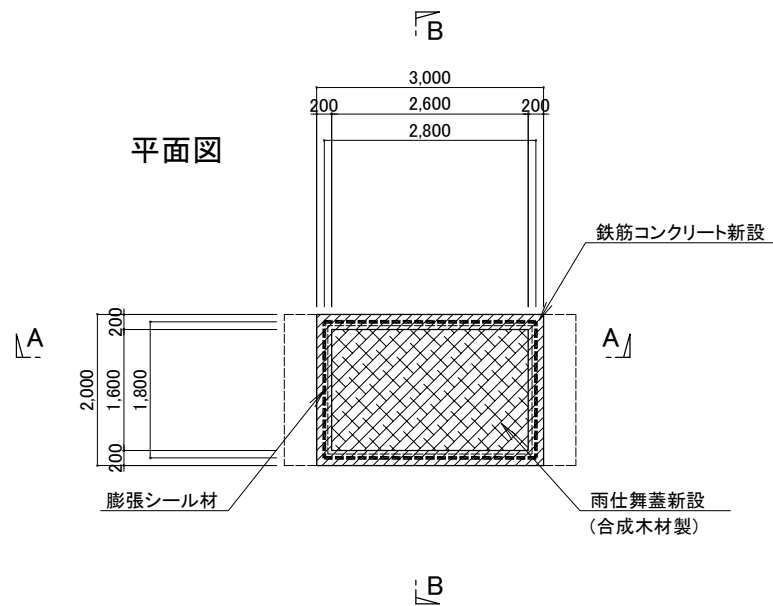
復旧数量(管_C_1_2)			
膨張シール材	$L = 0.89 \times 4 \times 27$	=	96.12 m
鉄筋コンクリート 新設 (Fc=24N/mm ²)	$v = 0.50 \times 1.09 \times 1.09 \times 27$	=	16.04 m ³
	$-v = 0.30 \times 0.69 \times 0.69 \times 27$	=	-3.86 m ³
		V =	12.18 m ³
型枠工 (普通型枠)	$a = 0.50 \times 1.09 \times 4 \times 27$	=	58.86 m ²
	$a = 0.30 \times 0.69 \times 4 \times 27$	=	22.36 m ²
	$a = 0.69 \times 0.69 \times 27$	=	12.85 m ²
		A =	94.07 m ²
支保工 くさび結合支保 (H ≧ 4.0m)	$T \leq 40 \text{ kN/m}^2$ $V = 0.69 \times 0.69 \times (4.20 + 1.40 + 0.30) \times 27$	=	75.84 空m ³

撤去工 (管_C_2)

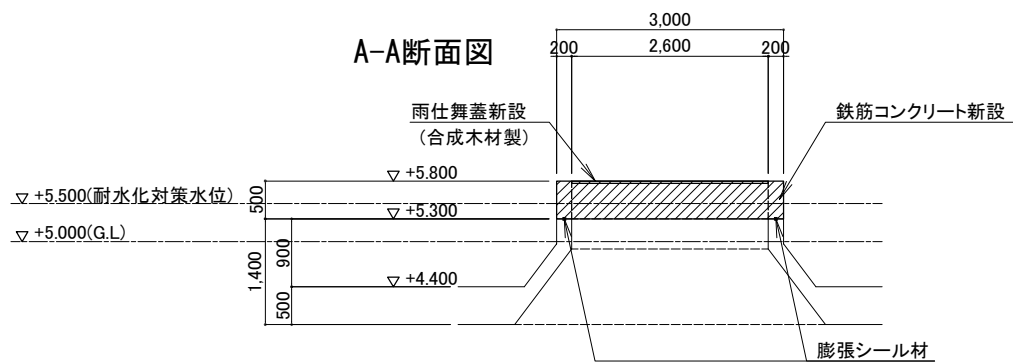


復旧工 (管_C_2)

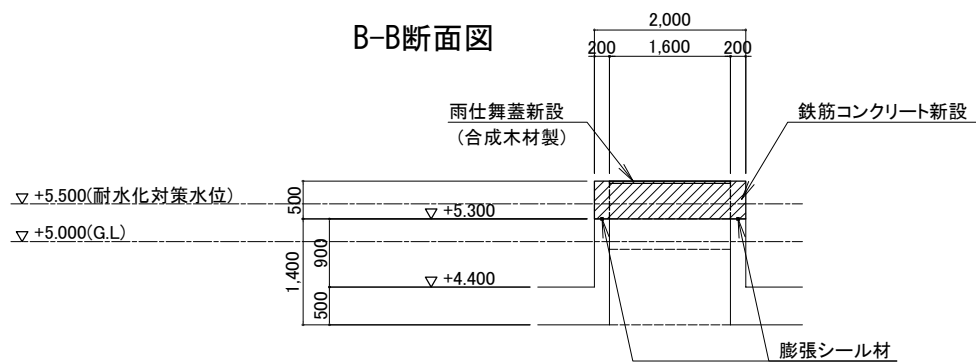
平面図



A-A断面図



B-B断面図



撤去数量(管_C_2)			
目荒し	$A = 3.00 \times 2.00 - 2.60 \times 1.60$	=	1.84 m ²
ガラ処分	$V = 1.84 \times 0.03$	=	0.06 m ³
トップライト撤去 2600×1600	N = 1	=	1 箇所
(参考重量)	1m ² 当たり28kg(樹脂製)と想定して、 $W = 28 \times (2.6 \times 1.6) \times 1/1000$	=	0.12 t
	厚さは、0.5mと想定して、 $V = (2.6 \times 1.6) \times 0.5$	=	2.08 m ³
	下水道用設計標準歩掛表-第2巻 ポンプ場・処理場編- P90・97より、 設備機械工(蓋撤去工) $N = 4.9 \times 0.4 \times 0.12$	=	0.24 人

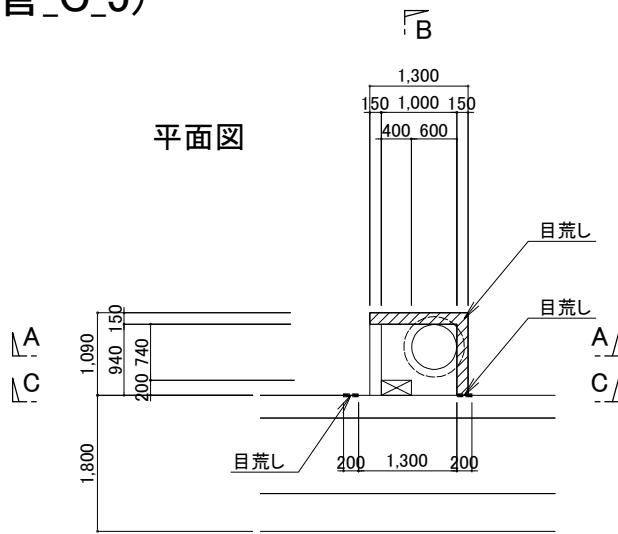
復旧数量(管_C_2)

<u>膨張シール材</u>	$L = (2.80 + 1.80) \times 2$	=	9.20 m
<u>鉄筋コンクリート 新設</u>	$V = 0.50 \times (3.00 \times 2.00 - 2.60 \times 1.60)$	=	0.92 m ³
<u>型枠工 (普通型枠)</u>	$A = 0.50 \times (3.00 + 2.60 + 2.00 + 1.60) \times 2$	=	9.20 m ²
<u>雨仕舞蓋新設</u>	(2,600mm×1,600mm、合成木材製) N = 1 (150kg/箇所と想定)	=	1 箇所
	下水道用設計標準歩掛表-第2巻 ポンプ場・処理場編- P97より、 設備機械工(蓋設置工)		
	$N = 4.9 \times 150 \times 1/1000$	=	0.74 人

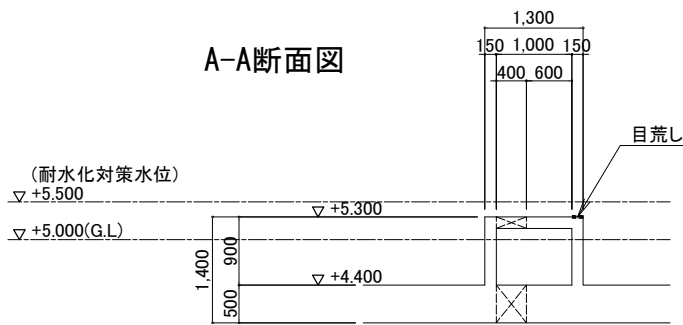
撤去工

(管_C_5)

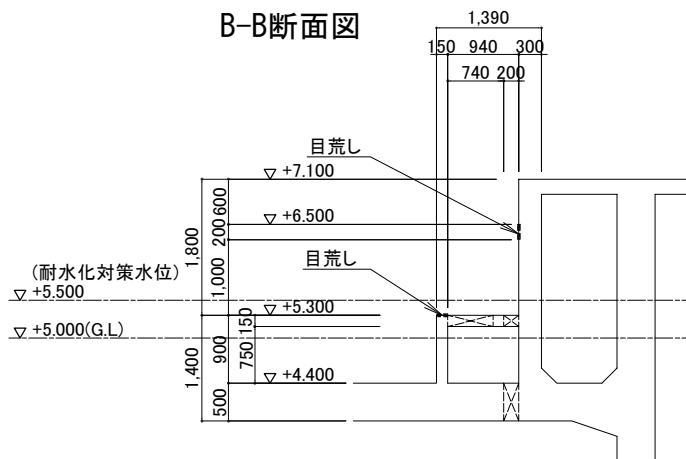
平面図



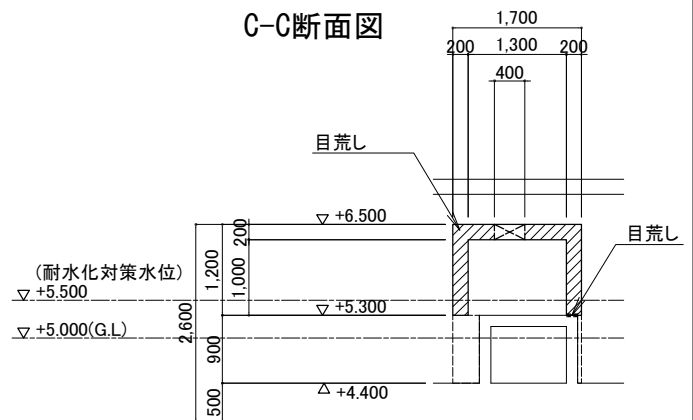
A-A断面図



B-B断面図

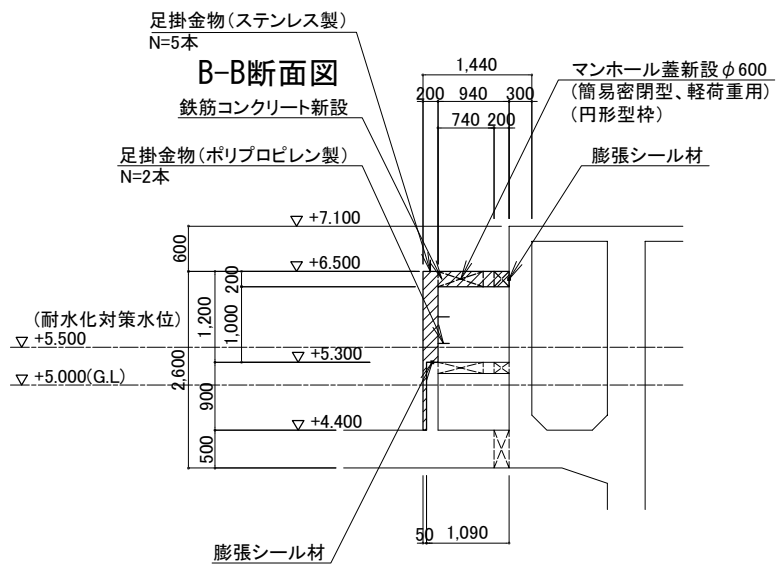
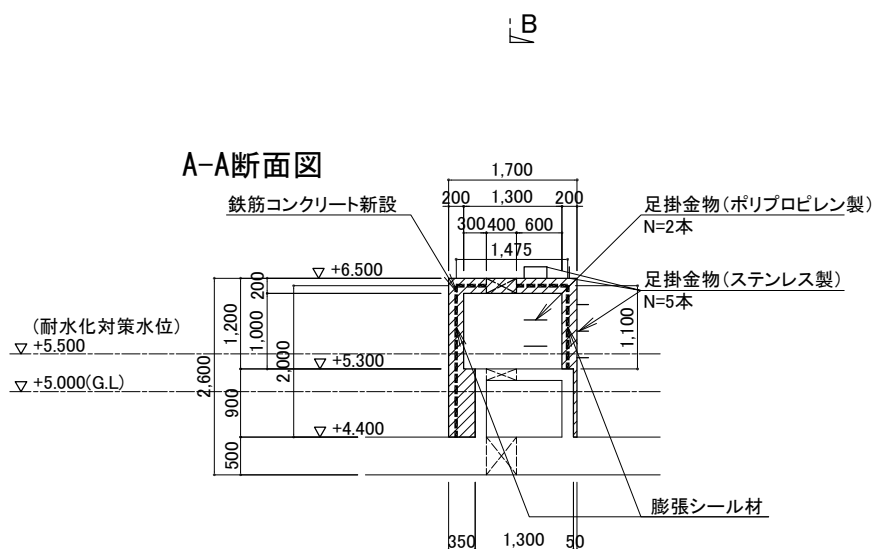
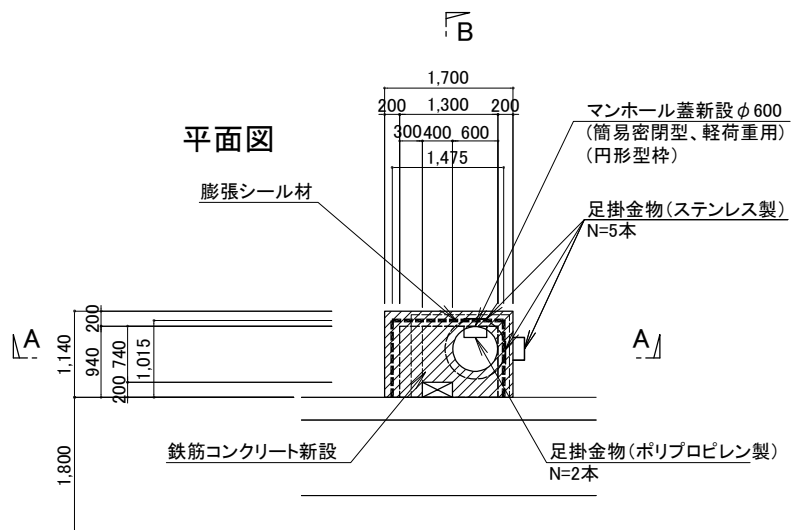


C-C断面図

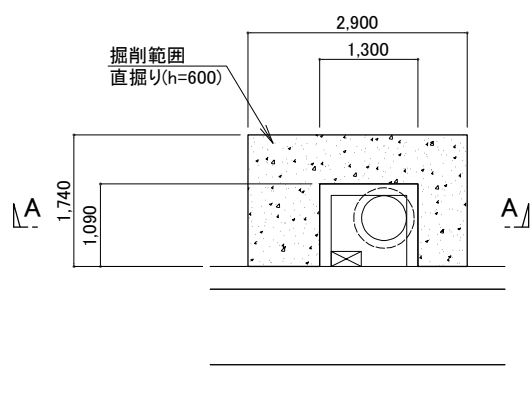


復旧工

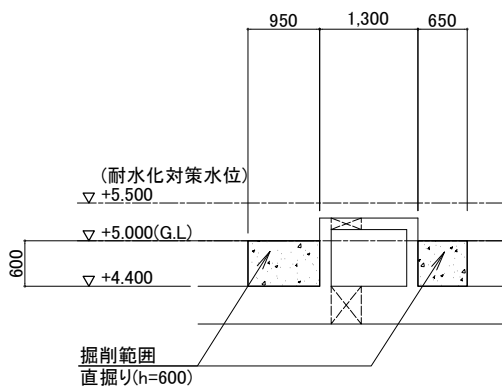
(管_C_5)



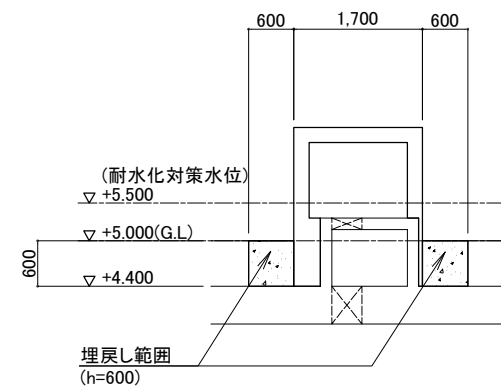
掘削埋戻し (管_C_5)



A-A断面図

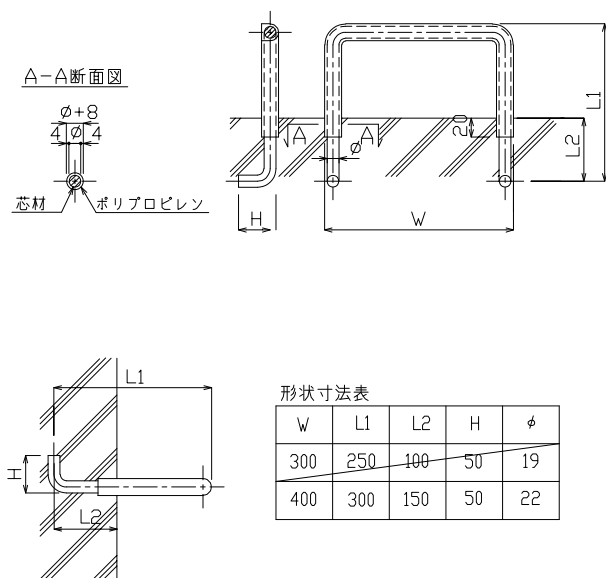


B-B断面図

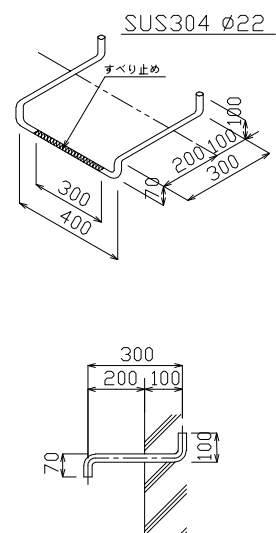


足掛金物 (管_C_5)

ポリプロピレン製



ステンレス製



仕 様

- 1) 形状寸法は、製造所の仕様による。芯材の材質は、SWCH12R、SUS304、又はSUS403とする。
- 2) 壁に100mm以上埋め込むこと。
- 3) 足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。
- 4) タラップは原則として、先づけ工法とする。
- 5) ステンレス丸棒と平鋼の取合いは全周すみ肉溶接とする。

撤去数量(管_C_5)		
目荒し	$a = 0.15 \times (1.30 + 0.94)$	= 0.34 m ²
	$a = 1.70 \times 1.20 - 1.30 \times 1.00 - 0.40 \times 0.20$	= 0.66 m ²
ガラ処分		A = 1.00 m ²
	$V = 1.00 \times 0.03$	= 0.03 m ³
掘削	$V = (2.90 \times 1.74 - 1.30 \times 1.09) \times 0.60$	= 2.18 m ³

復旧数量(管_C_5)		
膨張シール材	$L = 1.475 + 1.015 \times 2 + 1.475 - 0.40 + 2.00 + 1.10 + 0.90$	= 8.58 m
鉄筋コンクリート 新設 (Fc=24N/mm ²)	$v = 1.20 \times 1.70 \times 1.14$	= 2.33 m ³
	$-v = 1.00 \times 1.30 \times 0.94$	= -1.22 m ³
	$-v = 0.20 \times (0.20 \times 0.40 + 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60)$	= -0.07 m ³
	$v = 0.90 \times 1.70 \times 1.14 - 0.90 \times 1.30 \times 1.09$	= 0.47 m ³
型枠工 (普通型枠)		V = 1.51 m ³
	$a = 1.20 \times (1.14 \times 2 + 1.70)$	= 4.78 m ²
	$a = 0.90 \times (1.14 \times 2 + 1.70)$	= 3.58 m ²
	$a = 1.00 \times (0.94 \times 2 + 1.30)$	= 3.18 m ²
	$a = 1.30 \times 0.94 - 0.20 \times 0.40 - 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60$	= 0.86 m ²
	$a = 0.20 \times (0.20 \times 2 + 0.40)$	= 0.16 m ²
		A = 12.56 m ²
(円形型枠)	$A = 0.60 \times \pi \times 0.20$	= 0.38 m ²
支保工 パイプサポート支保 (H < 4.0m)	$T \leq 40 \text{ kN/m}^2$ $V = 1.00 \times (1.30 \times 0.94 - 0.40 \times 0.20 - 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60)$	= 0.86 空m ³
マンホール蓋 新設 φ 600	軽荷重用(簡易密閉型) N = 1	= 1 組

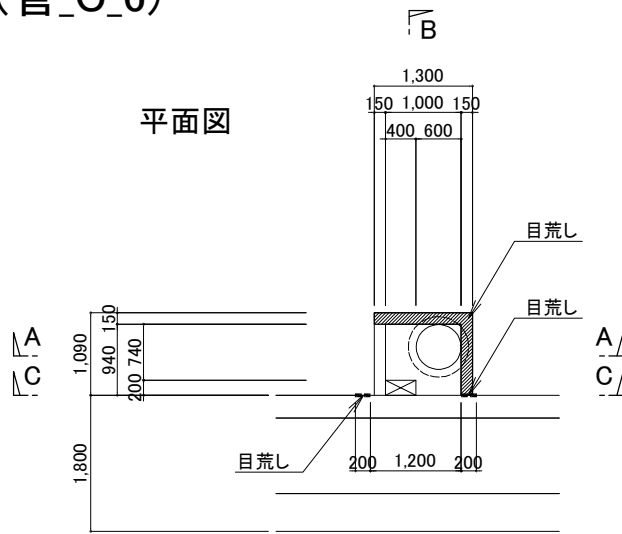
復旧数量(管_C_5)

<u>埋戻し</u>	$V = (2.90 \times 1.74 - 1.70 \times 1.14) \times 0.60 \div 0.9$	=	2.07 m^3
<u>残土処分</u> (場内処分)	$V = (2.18 - 2.07)$	=	0.11 m^3
<u>足掛金物</u>			
ポリプロピレン製	$N = 2 \text{ (}\phi 22, W=400\text{mm)}$	=	2 個
ステンレス製	$N = 5 \text{ (}\phi 22, W=400\text{mm)}$	=	5 個

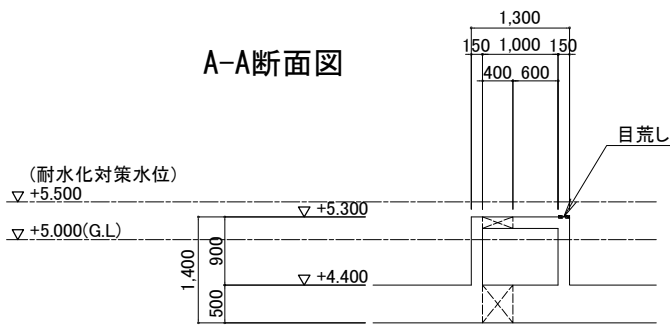
撤去工

(管_C_6)

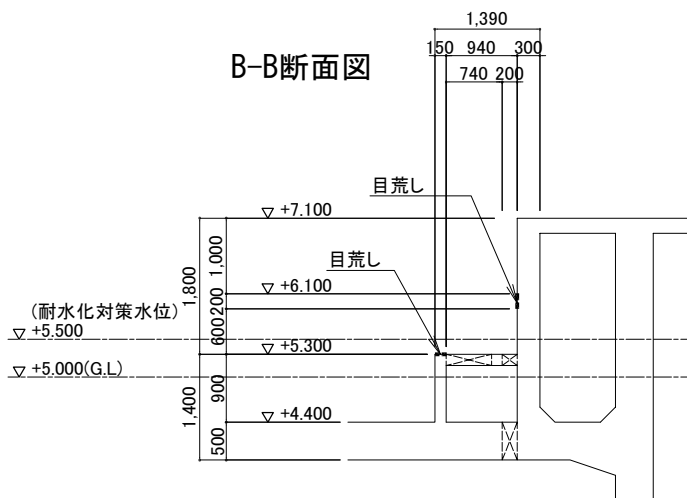
平面図



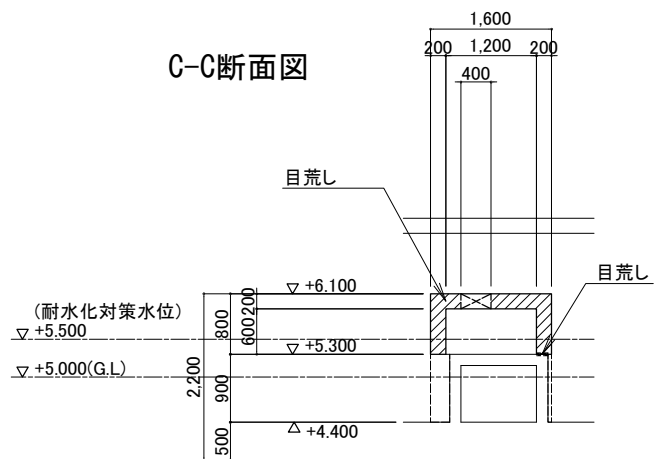
A-A断面図



B-B断面図

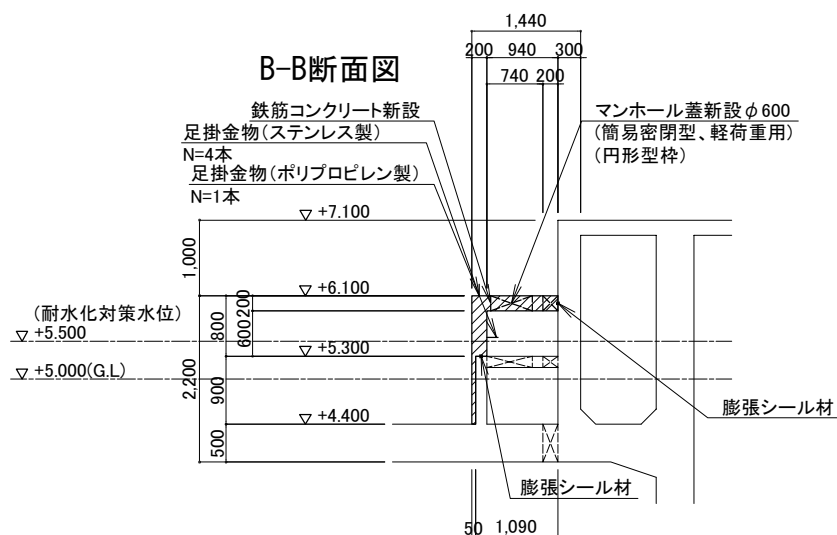
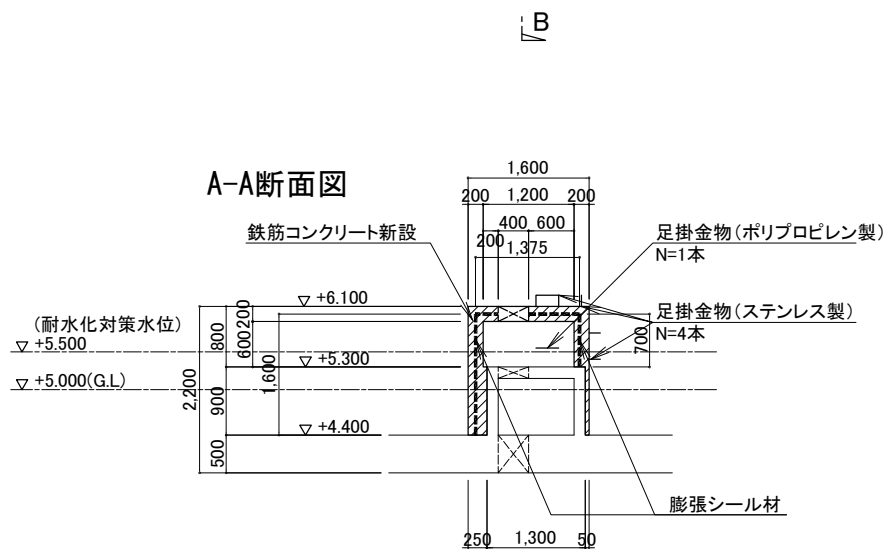
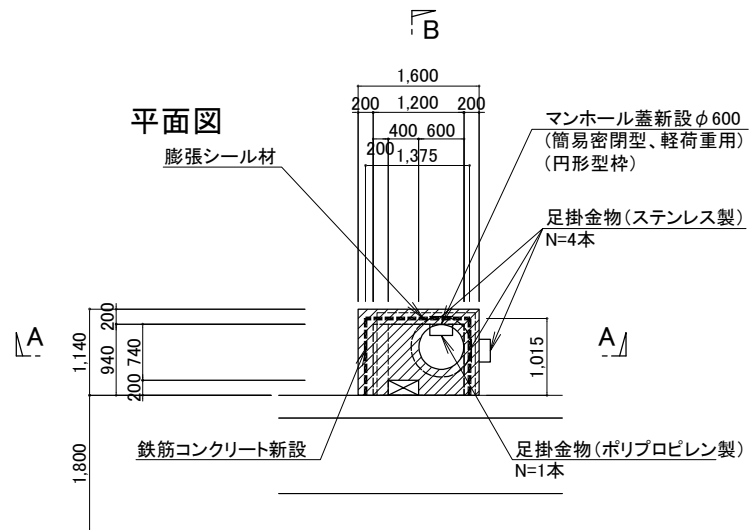


C-C断面図

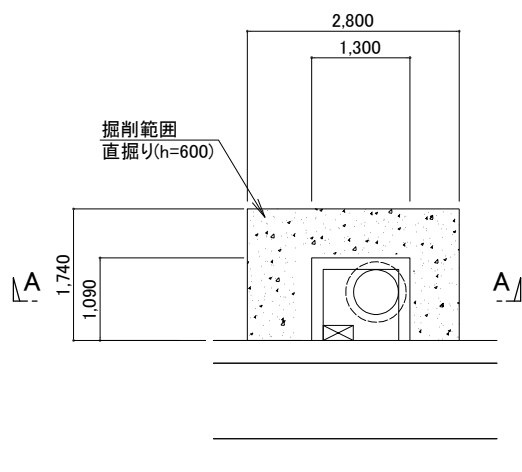


復旧工

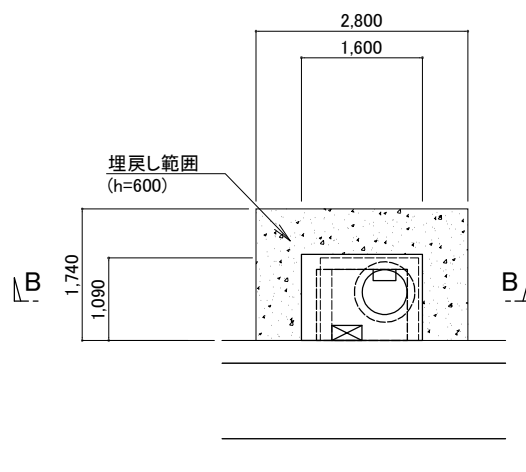
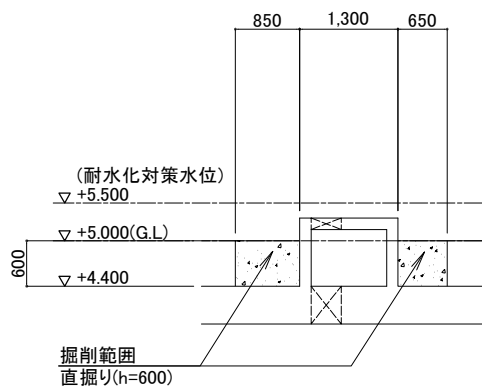
(管_C_6)



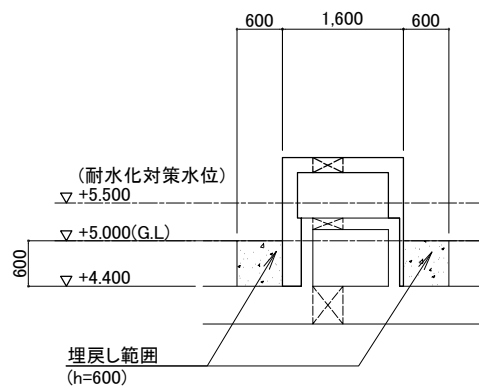
掘削埋戻し (管_C_6)



A-A断面図

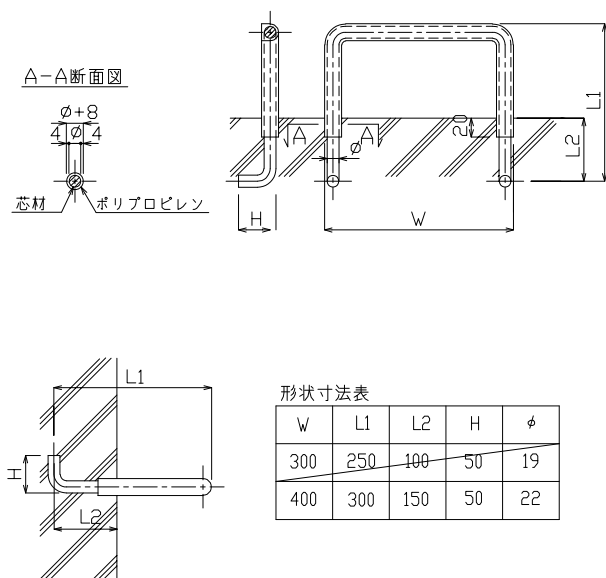


B-B断面図

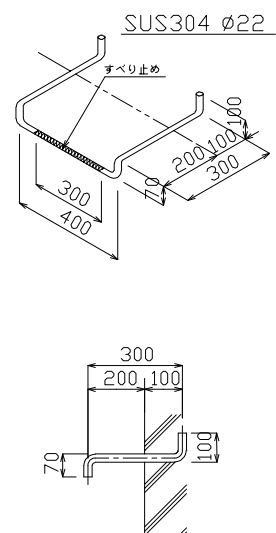


足掛金物 (管_C_6)

ポリプロピレン製



ステンレス製



仕 様

- 1) 形状寸法は、製造所の仕様による。芯材の材質は、SWCH12R、SUS304、又はSUS403とする。
- 2) 壁に100mm以上埋め込むこと。
- 3) 足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。
- 4) タラップは原則として、先づけ工法とする。
- 5) ステンレス丸棒と平鋼の取合いは全周すみ肉溶接とする。

撤去数量(管_C_6)

目荒し	$a = 0.15 \times (1.30 + 0.94)$ $a = 1.60 \times 0.80 - 1.20 \times 0.60 - 0.40 \times 0.20$	$= 0.34 \text{ m}^2$ $= 0.48 \text{ m}^2$
ガラ処分	$V = 0.82 \times 0.03$	$A = 0.82 \text{ m}^2$ $= 0.02 \text{ m}^3$
掘削	$V = (2.80 \times 1.74 - 1.30 \times 1.09) \times 0.60$	$= 2.07 \text{ m}^3$

復旧数量(管_C_6)		
膨張シール材	$L = 1.375 + 1.015 \times 2 + 1.375 - 0.40 + 1.60 + 0.70 + 0.90$	= 7.58 m
鉄筋コンクリート 新設 (Fc=24N/mm ²)	$v = 0.80 \times 1.60 \times 1.14$	= 1.46 m ³
	$-v = 0.60 \times 1.20 \times 0.94$	= -0.68 m ³
	$-v = 0.20 \times (0.20 \times 0.40 + 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60)$	= -0.07 m ³
	$v = 0.90 \times 1.60 \times 1.14 - 0.90 \times 1.30 \times 1.09$	= 0.37 m ³
		V = 1.08 m ³
型枠工 (普通型枠)	$a = 0.80 \times (1.14 \times 2 + 1.60)$	= 3.10 m ²
	$a = 0.90 \times (1.14 \times 2 + 1.60)$	= 3.49 m ²
	$a = 0.60 \times (0.94 \times 2 + 1.20)$	= 1.85 m ²
	$a = 1.20 \times 0.94 - 0.20 \times 0.40 - 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60$	= 0.77 m ²
	$a = 0.20 \times (0.20 \times 2 + 0.40)$	= 0.16 m ²
		A = 9.37 m ²
(円形型枠)	$A = 0.60 \times \pi \times 0.20$	= 0.38 m ²
支保工 パイプサポート支保 (H < 4.0m)	$T \leq 40 \text{ kN/m}^2$ $V = 0.60 \times (1.20 \times 0.94 - 0.40 \times 0.20 - 1/4 \times \pi \times 0.60 \times 0.60)$	= 0.46 空m ³
マンホール蓋 新設 φ 600	軽荷重用(簡易密閉型) N = 1	= 1 組

復旧数量(管_C_6)

<u>埋戻し</u>	$V = (2.80 \times 1.74 - 1.60 \times 1.14) \times 0.60 \div 0.9$	=	2.03 m^3
<u>残土処分</u> (場内処分)	$V = (2.07 - 2.03)$	=	0.04 m^3
<u>足掛金物</u>			
ポリプロピレン製	$N = 1 \text{ (} \phi 22, W=400\text{mm)}$	=	1 個
ステンレス製	$N = 4 \text{ (} \phi 22, W=400\text{mm)}$	=	4 個

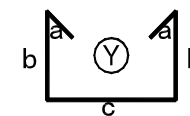
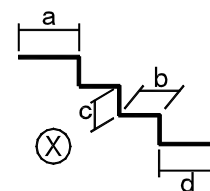
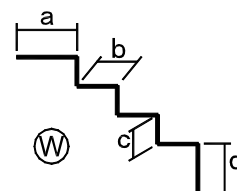
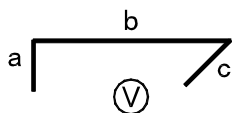
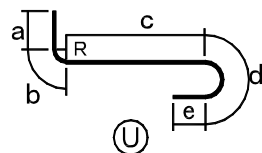
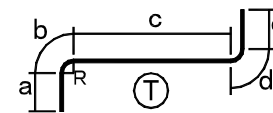
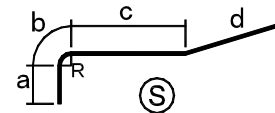
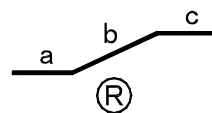
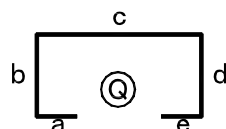
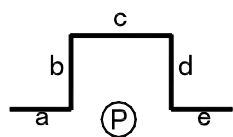
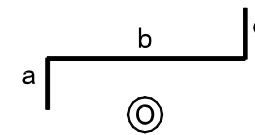
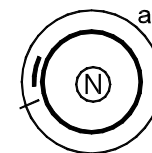
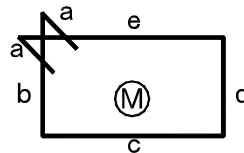
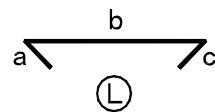
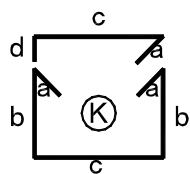
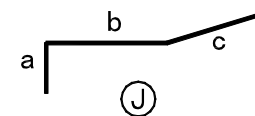
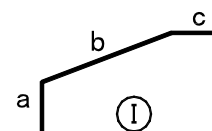
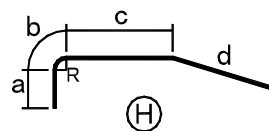
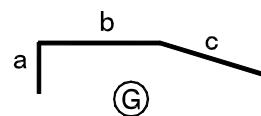
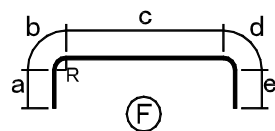
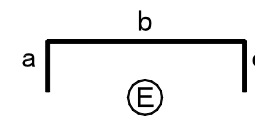
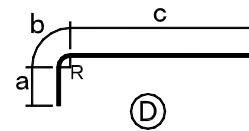
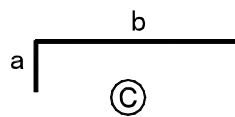
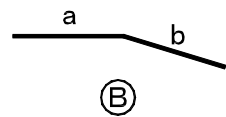
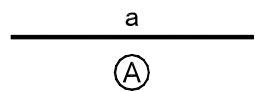
鉄筋集計表 (SD345全体重量)

[illegible]

鉄筋集計表

図 面 名 称		あと施工アンカー 有効埋込長 12d																											
	No.	↑ 上向き									↓ 下向き									→ 横向き									
		D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	
沈C_1配筋図			2									2									4								
管廊配筋図(1)												686																	
管廊配筋図(2)												19									26	4							
管廊配筋図(3)												18									20	4							
合 計 (本)			2									725									50	8							

鉄筋加工図



その他

(Z)

[illegible]

径(mm)		D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35
総鉄筋長(m)		0.000	4.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
単位重量(kg/m)		0.560	0.995	1.560	2.250	3.040	3.980	5.040	6.230	7.510
総重量(kg)		0	4	0	0	0	0	0	0	0
圧接箇所		0	0	0	0	0	0	0	0	0
あと施工 アンカー(本) 有効 12d	上向 ↑	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ↓	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	横向 →	0	4	0	0	0	0	0	0	0
あと施工 アンカー(本) 有効 7d	上向 ∧	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ∨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 >	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずれ止め アンカー(本) 有効 12d	上向 △	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ▽	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 □	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずれ止め アンカー(本) 有効 7d	上向 ▲	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ▼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 ■	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械継手(本)		◎	0	0	0	0	0	0	0	0

径 (mm)		D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35
総鉄筋長 (m)		0.000	119.370	11.520	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
単位重量 (kg/m)		0.560	0.995	1.560	2.250	3.040	3.980	5.040	6.230	7.510
総重量 (kg)		0	119	18	0	0	0	0	0	0
圧接箇所		0	0	0	0	0	0	0	0	0
あと施工 アンカー(本) 有効 12d	上向 ↑	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ↓	0	19	0	0	0	0	0	0	0
	横向 →	0	26	4	0	0	0	0	0	0
あと施工 アンカー(本) 有効 7d	上向 ∧	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ∨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 >	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずれ止め アンカー(本) 有効 12d	上向 △	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ▽	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 □	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずれ止め アンカー(本) 有効 7d	上向 ▲	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ▼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 ■	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械継手 (本)		◎	0	0	0	0	0	0	0	0

径 (mm)		D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35
総鉄筋長 (m)		0.000	93.180	11.520	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
単位重量 (kg/m)		0.560	0.995	1.560	2.250	3.040	3.980	5.040	6.230	7.510
総重量 (kg)		0	93	18	0	0	0	0	0	0
圧接箇所		0	0	0	0	0	0	0	0	0
あと施工 アンカー(本) 有効 12d	上向 ↑	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ↓	0	18	0	0	0	0	0	0	0
	横向 →	0	20	4	0	0	0	0	0	0
あと施工 アンカー(本) 有効 7d	上向 ∧	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ∨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 >	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずれ止め アンカー(本) 有効 12d	上向 △	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ▽	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 □	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずれ止め アンカー(本) 有効 7d	上向 ▲	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下向 ▼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横向 ■	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械継手 (本)		◎	0	0	0	0	0	0	0	0

床版開口部控除鉄筋重量計算表（長方形）

[illegible]

径 (mm)	控除重量 (kg)	径 (mm)	控除重量 (kg)
D10	0	D25	0
D13	1	D29	0
D16	0	D32	0
D19	0	D35	0
D22	0		

床版開口部控除鉄筋重量計算表(円形)

[illegible]

径 (mm)	控除重量 (kg)	径 (mm)	控除重量 (kg)
D10	0	D25	0
D13	10	D29	0
D16	0	D32	0
D19	0	D35	0
D22	0		

フレア溶接		
片面10d D13 沈_C_1 鉄筋番号 1,3 縦方向 横方向	N = 1 + 1 N = 1 + 1	= 2 箇所 = 2 箇所